



装置デバイス/SDGs3,9

簡単かつ短時間でできる！レーザー誘起バブルを用いた高次機能バイオチップの作製

No.19

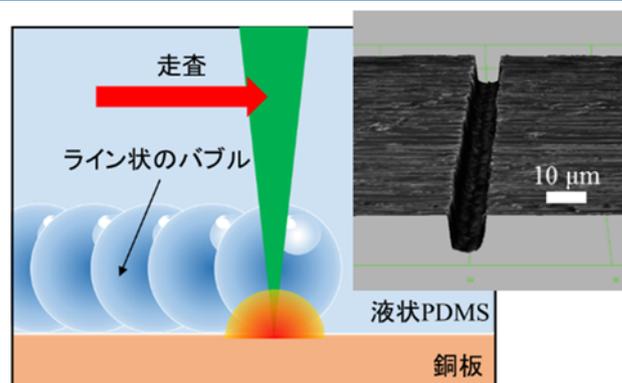
大学院理工学研究科 機械科学コース

教授 花田 修賢(はなだ やすたか)

URL:<http://www.mech.hirosaki-u.ac.jp/~y-hanada/>

技術概要

- 熱硬化性透明樹脂に微細な流路や金属配線を加工する方法(特願 2018-000508)
- レーザーを(集光)照射することで泡(バブル)を発生させ、その後、熱処理を行うことで、バブルの形状を反映した表面加工を実現。
- 焦点を調整することで3次元の加工も可能。



想定される活用例

- バイオチップ
- 医用機器
- 半導体基板応用

相談可能な分野

- レーザー(光)工学全般
- レーザー加工などの微細加工

問合せ先

国立大学法人弘前大学

(産学連携)研究・イノベーション推進機構 E-mail ura@hirosaki-u.ac.jp

(特許)研究推進部 研究推進課 知的財産担当 Email chizai@hirosaki-u.ac.jp